

# 事務事業評価シート（1/2）

1頁  
平成30年 8月 6日  
15時53分34秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001134530 アンフォーレ課まちなか連携係  
事務事業 02556 アンフォーレ施設管理事業

所属長名 岡田知之  
担当者 沓名広紀  
電話番号 0566-76-6111

## 【基本情報】

計画回数	02 第8次安城市総合計画			
5Kの分類	003 経済			
項目（施策）	004 10都市基盤（市街地）			
施策の方針	002 都市拠点（JR安城駅周辺）の整備促進			
事務事業	019 アンフォーレ施設管理事業			
事業期間	平成29年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業	まちづくり	マニフェスト	○	地方創生
根拠法令等	安城市中心市街地拠点施設条例			
備考				

## 【事業分析】

対象	施設利用者が
目的	快適な環境で施設を利用できるようになる
手段	施設警備・設備点検・清掃等の維持管理、建築設備器具修繕等を実施します。
事務内容	光熱水費支払い、建築設備器具修繕、PFI事業者への施設維持管理業務委託、ネットワーク保守管理委託 等

## 【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	148,353	168,032
事業費	0	141,423	161,102
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	1,842	1,987
一般財源	0	139,581	159,115
人件費計	0	6,930	6,930
正規（人）	0.00	1.10	1.10
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		アンフォーレ設備維持 管理委託、アンフォー レネットワーク保守委 託 等	アンフォーレ設備維持 管理委託、アンフォー レネットワーク保守委 託 等

# 事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001134530 アンフォーレ課まちなか連携係  
事務事業 02556 アンフォーレ施設管理事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
施設管理に関するクレーム（意見等を含む）件数	件	0.00	20.00	20.00
		0.00	0.00	0.00
アンフォーレ本館の年間入館者数	人	0.00	700,000.00	1,000,000.00
		0.00	1,006,933.00	0.00

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市の施設であり、市が管理を行う必要があります。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	施設の適正な管理は市民ニーズに対する必要十分条件です。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	問題なく施設管理を遂行しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	PFI事業による維持管理計画を都度適正に見直しています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	施設規模に見合った管理事業を実施しています。		

【1次評価結果】	
事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	平成29年6月の施設供用開始以来、予想を上回る数の来館をいただきました。 施設利用者の皆さんに引き続き快適に施設を利用していただくために、消防法等の関連法令を遵守し、適切な施設運営・施設維持管理を行ってまいります。

【2次評価結果】	
事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

3頁  
平成30年 8月 6日  
15時53分34秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001134530 アンフォーレ課まちなか連携係  
事務事業 02558 まちなか賑わい創出事業

所属長名 岡田知之  
担当者 沓名広紀  
電話番号 0566-76-6111

## 【基本情報】

計画回数	02 第8次安城市総合計画				
5Kの分類	003 経済				
項目（施策）	004 10都市基盤（市街地）				
施策の方針	002 都市拠点（JR安城駅周辺）の整備促進				
事務事業	020 まちなか賑わい創出事業				
事業期間	平成29年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業	まちづくり	マニフェスト	○	地方創生	健幸
根拠法令等	安城市中心市街地拠点施設条例				
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・中心市街地拠点施設活用促進事業 ・南吉まちづくり推進事業				

## 【事業分析】

対象	安城市民及び市外住民が
目的	アンフォーレが有効活用され、多くの来館が生まれることで、まちなかでの交流・賑わいを創出する。
手段	ホール等の交流多目的スペースを活用したイベント業務やイベントを実施する市民団体等のコーディネート業務等を行う指定管理事業、アンフォーレのPR、新美南吉等の地域資源を活用した回遊促進事業等を実施します。
事務内容	交流多目的スペース及びイベント広場指定管理業務、安城ARナビ運用保守委託 等

## 【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	82,081	64,331
事業費	0	69,481	54,251
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	69,481	54,251
人件費計	0	12,600	10,080
正規（人）	0.00	2.00	1.60
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		交流多目的スペース及びイベント広場指定管理業務、安城ARナビ運用保守委託、アンフォーレオープニングイベント運営委託、アンフォーレパンフレット作成委託 等	交流多目的スペース及びイベント広場指定管理業務、安城ARナビ運用保守委託 等

# 事務事業評価シート（2/2）

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001134530 アンフォーレ課まちなか連携係  
事務事業 02558 まちなか賑わい創出事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
アンフォーレを会場とする事業数	件	0.00	160.00	700.00
		0.00	654.00	0.00
アンフォーレ本館の年間入館者数	人	0.00	700,000.00	1,000,000.00
		0.00	1,006,933.00	0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市の施設を活用した事業であり、市が実施する必要があります。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	市議会、地域商店街等から施設有効利用の要望があります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	施設利用件数、施設入館者数ともに目標を上回りました。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	指定管理事業を活用し、事業の効率化を図っています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	施設規模及び都市規模に見合った事業実施を図っています。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	平成29年6月の施設供用開始以来、予想を上回る数の来館をいただきました。ホールや多目的室等の交流多目的スペースについても、当初想定よりも多くの利用をいただき、市民の交流の場として活用いただいています。まちなかの交流・賑わいの創出するために、引き続き、アンフォーレを活用した事業展開を図る必要があります。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001134530 アンフォーレ課まちなか連携係  
事務事業 02560 中心市街地拠点整備事業

所属長名 岡田知之  
担当者 沓名広紀  
電話番号 0566-76-6111

## 【基本情報】

計画回数	02 第8次安城市総合計画				
5Kの分類	003 経済				
項目（施策）	004 10都市基盤（市街地）				
施策の方針	002 都市拠点（JR安城駅周辺）の整備促進				
事務事業	008 中心市街地拠点整備事業				
事業期間	平成20年度～平成29年度	10年間			
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業	まちづくり	マニフェスト	○	地方創生	健幸
根拠法令等					
備考					

## 【事業分析】

対象	市民が
目的	交流とまちづくりの拠点として活用できるようになる
手段	平成29年6月の供用開始に向け、拠点施設を整備します。
事務内容	PF1事業の進捗管理、事業に関する情報発信、周辺土地区画整理事業との調整 等

## 【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	261,796	0
事業費	0	260,536	0
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	173,835	0
一般財源	0	86,701	0
人件費計	0	1,260	0
正規（人）	0.00	0.20	0.00
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		工事進捗管理、広場及び公園の所有権移転、備品購入 等	

# 事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001134530 アンフォーレ課まちなか連携係  
事務事業 02560 中心市街地拠点整備事業

上段：目標値 下段：実績値

## 【定量評価】

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
工事進捗率	%	0.00 0.00	100.00 100.00	0.00 0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	本市の中心市街地活性化に資する施設を整備する事業であるため。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	市議会、商工会議所、地域商店街等からの整備要望がありました。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標通り平成29年6月に施設供用開始しました。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	PFI事業を活用し、事業費9.5%の削減率を確保しました。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	適切な規模の施設整備を行いました。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	休止・廃止・終了
1次コメント (400文字)	平成29年6月の施設供用開始に伴い、本事業は目標を達成したことから、事業は終了とします。 施設の維持管理業務については、「アンフォーレ施設管理事業」において実施していきます。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

1頁  
平成30年 8月 6日  
15時53分49秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001134540 アンフォーレ課図書情報係  
事務事業 02576 図書館施設管理事業

所属長名 岡田 知之  
担当者 伊藤 健太  
電話番号 0566-76-6111

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	004	14生涯学習		
施策の方針	005	新たな図書館サービスの展開		
事務事業	003	図書館施設管理事業		
事業期間	昭和60年度～平成29年度	33	年間	
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	安城市図書館の設置及び管理に関する条例			
備考				

## 【事業分析】

対象	図書館の利用者が
目的	図書館資料を閲覧できるようにします。
手段	旧中央図書館の閉架書庫を修繕します。
事務内容	業者への委託等

## 【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	25,992	0
事業費	0	24,732	0
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	24,732	0
人件費計	0	1,260	0
正規（人）	0.00	0.20	0.00
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		閉架書庫修繕 不用品等処分等	平成29年度で事業終了

# 事務事業評価シート (2/2)

2頁  
平成30年 8月 6日  
15時53分49秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001134540 アンフォーレ課図書情報係  
事務事業 02576 図書館施設管理事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
工事進捗率	%	0.00 0.00	100.00 100.00	0.00 0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	3
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	国立、県立の公共図書館もあります。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	移転後の図書情報館は、年間100万人近くの利用があります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	予定どおり事業を完了しました。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	業務の一部を民間に委託しています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	老朽化した書架を修繕し有効利用するものです。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	休止・廃止・終了
1次コメント (400文字)	予定どおり進捗し、中央図書館の閉館に伴い平成29年度で事業を終了します。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。



# 事務事業評価シート（1/2）

3頁  
平成30年 8月 6日  
15時53分49秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001134540 アンフォーレ課図書情報係  
事務事業 02577 図書情報館ICT活用事業

所属長名 岡田 知之  
担当者 浅井 晶子  
電話番号 0566-76-6111

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	004	きずな			
項目（施策）	004	14生涯学習			
施策の方針	005	新たな図書館サービスの展開			
事務事業	004	図書情報館ICT活用事業			
事業期間	平成26年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業	きっかけづくり	マニフェスト	○	地方創生	定住・移住促進
根拠法令等	図書館法、文字・活字文化振興法、安城市図書館の設置及び管理に関する条例				
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業から名称変更しています。 ・図書情報館機能整備事業				

## 【事業分析】

対象	図書情報館利用者が
目的	必要な情報を得て知識を深めることができる。
手段	施設や機器を提供します。
事務内容	情報発信及び情報機器類の管理と利活用を行います。

## 【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	73,664	77,134
事業費	0	59,174	61,384
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	3,016	4,823
一般財源	0	56,158	56,561
人件費計	0	14,490	15,750
正規（人）	0.00	2.30	2.50
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		図書館システム運用保守委託 情報機器類保守委託 利用者用パソコンデータベース ロボットプログラミング講座の実施等	図書館システム運用保守委託 情報機器類保守委託 利用者用パソコンデータベース ロボットプログラミング講座の実施等

# 事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001134540 アンフォーレ課図書情報係  
事務事業 02577 図書情報館 ICT活用事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
自動貸出機利用率	%		0.00	80.00	82.50		
			0.00	88.10	0.00		
ロボットプログラミング教室参加者数	人		0.00	30.00	25.00		
			0.00	31.00	0.00		
施設利用日率	%		0.00	50.00	50.00		
			0.00	39.96	0.00		

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	国、県の図書館もありますが、図書情報館独自の取り組みです。			
2	必要性 市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある	1
		2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3	市民ニーズはない又は不明である	
理由	図書貸出の80%以上がICT活用によるものです。			
3	有効性 目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2	目標を下回る進捗状況である	
		3	進捗はかなり遅れている	
理由	図書情報館利用者のICT活用は、順調に浸透しています。			
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	一部業務を民間に委託し、効率化を図っています。			
5	公平性 事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他の公立図書館と比較しても、質の高いサービスを提供しています			

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	施設利用日率は、グループ学習室1及び6は60%を超えたものの、ディスカッションルーム及び編集・録音スタジオの利用が少なく、全体としては目標を下回りました。図書館としては初めての取り組みでもあるので、利用者へのPRなどに努め、利用率の向上を図ります。 ロボットプログラミング教室は、民間の教室の増加及び学校での必修化に伴い市民ニーズの低下が予想されるので、規模を縮小しつつ継続します。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

1頁  
平成30年 8月 6日  
15時54分03秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001134550 アンフォーレ課図書サービス係  
事務事業 02578 図書情報館資料貸出事業

所属長名 岡田 知之  
担当者 加藤 康平  
電話番号 0566-76-6111

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	004	14生涯学習		
施策の方針	005	新たな図書館サービスの展開		
事務事業	005	図書情報館資料貸出事業		
事業期間	昭和24年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	図書館法、文字活字文化振興法、子どもの読書活動の推進に関する法律			
備考				

## 【事業分析】

対象	図書館を利用する市民が
目的	必要とする図書館資料の提供を受けられるようになる
手段	利用者のニーズに応じた図書館資料を迅速かつ的確に選定・収集し、または他の図書館との相互貸借により提供します。
事務内容	図書館資料の貸出、レファレンスサービス、図書館資料の選定・収集・装備、相互貸借、公民館図書室等への配送、図書館システムの使用（維持管理含む）等

## 【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	190,940	124,200
事業費	0	174,560	100,260
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	24	30
一般財源	0	174,536	100,230
人件費計	0	16,380	23,940
正規（人）	0.00	2.60	3.80
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		図書館資料の収集・整理・保存及び利用 レファレンス業務 公民館等図書及び学校 図書配送業務（派遣） 背ラベル貼付及び移転 業務委託	図書館資料の収集・整理・保存及び利用 レファレンス業務 公民館等図書及び学校 図書配送業務（派遣） あんステップ図書移転 業務委託

# 事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001134550 アンフォーレ課図書サービス係  
事務事業 02578 図書館資料貸出事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
市民1人あたりの図書年間貸出冊数	冊	0.00	10.50	10.70
		0.00	10.10	0.00
図書館等の実利用者数(単年度)	人	0.00	31,500.00	32,000.00
		0.00	34,619.00	0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1 必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	3
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	図書館法により各地方公共団体が図書館サービスを提供しています		
2 必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	年間貸出冊数・新規利用者カードの登録数等が大幅に伸びています		
3 有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	年間貸出冊数・実利用者数ともに前年度の数値を上回っています		
4 効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	雑誌スポンサー制度の導入により雑誌の蔵書冊数が増加しています		
5 公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他の公立図書館と比較しても質の高いサービスを提供しています		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	市民1人あたりの図書年間貸出冊数は、前年度実績を上回りましたが、まだ目標値には達しておらず、今以上に質の高い図書館サービスを行うとともに、新たな利用者の開拓とリピート率の向上を図る必要があります。また、前年度に引き続き、利用者のニーズに沿った蔵書の充実と窓口での接遇改善に努める必要があります。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

3頁  
平成30年 8月 6日  
15時54分03秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001134550 アンフォーレ課図書サービス係  
事務事業 02579 読書活動推進事業

所属長名 岡田 知之  
担当者 加藤 康平  
電話番号 0566-76-6111

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	004	14生涯学習		
施策の方針	005	新たな図書館サービスの展開		
事務事業	006	読書活動推進事業		
事業期間	昭和24年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	図書館法、文字活字文化振興法、子どもの読書活動の推進に関する法律			
備考				

## 【事業分析】

対象	より多くの市民が
目的	読書に親しみ、読書活動を通じて豊かな心を育むことができるようになる
手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが読書に親しみ、絵本の楽しさと豊かな感性を育むため、出前おはなし会等を開催します。</li> <li>・読み聞かせボランティアの養成とスキルアップの支援、駅前読書交流会を開催します。</li> <li>・保健センターの4か月児健診終了後に、読み聞かせの実演とともに、赤ちゃん向け絵本と新美南吉絵本大賞作品と一緒に配付する安城版ブックスタート事業を実施します。</li> </ul>
事務内容	出前おはなし会・定期的なおはなし会等の開催、ボランティア養成・スキルアップ講座の開催、駅前読書交流会、安城版ブックスタート事業 等

## 【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	15,690	29,740
事業費	0	6,870	15,250
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	308	1,606
一般財源	0	6,562	13,644
人件費計	0	8,820	14,490
正規（人）	0.00	1.40	2.30
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		読書活動の奨励 図書館行事（おはなし会等）の企画調整 講演会・講座等の開催 南吉絵本大賞の実施	読書活動の奨励 図書館行事（おはなし会等）の企画調整 講演会・講座等の開催 南吉絵本大賞作品の絵本化

# 事務事業評価シート (2/2)

4 頁  
平成30年 8月 6日  
15時54分03秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001134550 アンフォーレ課図書サービス係  
事務事業 02579 読書活動推進事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
図書館での「おはなし会」の参加人数	人	0.00	3,700.00	3,700.00
		0.00	4,612.00	0.00
ボランティア養成・支援講座の開催回数	人	0.00	19.00	19.00
		0.00	8.00	0.00

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	3
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	図書館法により各地方公共団体が図書館サービスを提供しています		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	多くの人が図書館のおはなし会や講演会・講座等に参加しています		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	図書館及び全地区公民館で定期的なおはなし会を開催しています		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	読み聞かせボランティアと協働によりおはなし会を開催しています		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他の公立図書館と比較しても質の高いサービスを提供しています		

【1次評価結果】	
事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	既存の地区公民館図書室との連携に加え、新たに小中学校の学校図書館との物流ネットワークやシステムネットワークが整備されたことにより、子どもの読書環境の更なる充実を図ることができました。 また、図書館での「おはなし会」の参加人数は前年度実績を大きく上回りましたが、活動する読み聞かせボランティアの高齢化や会員の減少が進んでいるため、現行のメンバーのスキルアップだけでなく新たなメンバーの養成にも努める必要があります。

【2次評価結果】	
事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。